

「スカイツリーの水族館」

水族館といえば、江ノ島や鳥羽のように、海岸近くにあるのが普通でしたが、今はコンクリートの建物の中に、非常に堅牢な水槽を作って、たくさんの魚を飼育しています。外国のお客さんを連れていくと、「こんな都会の真ん中の巨大水槽に、たくさんの海の生き物がいるなんてすごい！」と驚嘆します。墨田区にある「すみだ水族館」もその一つです。校外学習の下見で、その「すみだ



水族館」に行ってきました。「すみだ水族館」は「とうきょうスカイツリー」の敷地内にある、人気の観光スポットです。幸い、平日夜ですいていました。

目玉は大水槽で泳ぐ「マゼランペンギン」と「クラゲ」です。ペンギンは、氷や岩の上では、ヨタヨタとしか歩けません。または腹ばいになって進みます。しかし水中では人が（いやペンギンが）変わります。ものすごいスピードで泳ぎ回るので。これは「泳ぐ」というよりも「水中を飛ぶ」とう表現が適当でしょう。

ペンギンは全部で 40 羽いるそうです。ここには天敵もないし、餌も探さなくていいし、いつでも自由に泳げるし・・・ある意味で、野生のペンギンよりも幸せかも知れません。マゼランペンギンは、南極ではなく南米大陸南部にいます。土に穴を掘って営巣する、めずらしい習性を持っています。



ペンギンの水槽は、2階からも真横からも見られます。時には、ペンギンたちが、トビウオの群れのように、水槽中を飛びながら泳ぐので、いつまで見ていても飽きませんでした。やっぱりペンギンは「鳥類」なんですね。